

憧れが眩しすぎる日本！

～暑いスーダンで熱い文化交流～

在スーダン日本国大使館

みなさんはスーダンという国をご存知ですか？アフリカ大陸の北東部、エジプトの南にある国です。青ナイル、白ナイル。二つのナイル河が、合流して一つになる地点にスーダンの首都、ハルツームがあります。

スーダンは日本人にとって馴染みが薄い国かもしれませんが。しかし、この写真をご覧ください。手作りのアニメ衣装のコスプレに、誇らしげに身を包む若者の姿のほんの一例です。



人気漫画「ワンピース」のコスプレ



スーダン人と在留邦人による「ソーラン節」

これは、スーダンで毎年、開催されている日本文化紹介イベント「JAPAN DAY SUDAN」の参加者です。

毎年2千人以上の人々が集まるこの「JAPAN DAY SUDAN」。2013年に青年海外協力隊の日本語教育隊員が企画して以降毎年開催され、その規模は拡大しています。

スーダンの人々は日本が大好きです。衛星テレビやインターネットを通じて日本のアニメを見て、アニメを通じて日本に興味を持つ人がたくさんいます。協力隊員が教える日本語講座には100名以上の学習者がいます。イベントはそうしたスーダン人日本語学習者と現地の協力隊員が力を合わせて作り上げています。

会場には、大好きなアニメのキャラクターのコスプレ衣装に身につく若者たち、スーダンの若き漫画家たちによるイラストブース、折り紙、茶道、着付け、書道、日本料理の紹介ブースなど様々なブースが来店され、多くの人々で賑わいます。

来場者は興味津々で折り紙や茶道を体験し、着物を着て記念撮影をする着付けブースには長い行列ができます。料理ブースのカレーと唐揚げもあっという間に売り切れます。会場の中央にあるステージ上では、スーダン人による柔道や合気道の演武、日本の歌の合唱、協力隊員有志によるオリジナルダンスなどが行われ、大変盛り上がります。最後は毎年恒例となっているソーラン節で締めくくります。

日本からスーダンへ行く人、スーダンから日本へ来る人の数はまだまだ少なく、お互いに相手の文化に触れる機会は決して多くありません。しかし、「JAPAN DAY SUDAN」のようなイベントによって、日本という国に興味を持つスーダン人が増え、また、こうしたイベントがスーダンで行われていることを知ることによってスーダンという国に興味を持つ日本人が増えれば幸いです。今後も「JAPAN DAY SUDAN」が両国の相互理解の促進に役立つことを願っています。

(了)